



Sagrada Familia - 聖家族 -

# サグラダ ファミリア

2025年10月5日号  
発行：カトリック水戸教会 広報部

## 【典礼部だより】10月の典礼暦から～聖ルカ福音記者の祝日～

典礼暦の2025年度（2024年12月1日・待降節第1主日から2025年の王であるキリストの祭日の週の土曜日〔11月29日〕まで）はC年ですから、年間の主日・週日の福音書は「ルカによる福音」が読みつがれていきます。

そして、今月18日の土曜日は「ルカによる福音」「使徒たちの宣教」の著者である聖ルカ福音記者の祝日です。

「使徒パウロのコロサイの教会への手紙」（4章14節）によれば聖ルカは医師で、聖パウロの3・4回目の宣教の旅に同行したことが「使徒たちの宣教」（16章10節、20章6節）に書かれています。聖パウロが2度目に逮捕されてローマに囚われていたとき、ともにいたのも聖ルカでした（2テモテ4章11節）。きっと聖パウロにとって信頼できる宣教の相棒だったのでしょう。

聖ルカ福音記者の祝日の福音朗読では「ルカによる福音」10章1～9節が読まれます。イエス様が72人を任命し『行きなさい。わたしはあなたがたを遣わす。』と派遣される場面で、宣教がテーマになっています。「ルカによる福音」にしても「使徒たちの宣教」にしても福音宣教のために著されたものですし、聖パウロの福音宣教の相棒だったわけですから、とてもぴったりの朗読箇所だと思います。

聖ルカは画家でもあり、聖母マリアとイエスを描いたという伝承があります（そのため、医師と画家の守護聖人とされます）。聖ルカの作品が遺されていたらぜひ見てみたいものですが、その絵にしても福音宣教のために描かれたに違いありません。聖パウロの殉教後、聖ルカは主にギリシャで福音宣教を続け、その地で殉教したと伝えられています。

聖ルカ福音記者の祝日の翌日、10月19日・年間第30主日の第2朗読の中で、聖パウロは『神の御前で、そして、生きている者と死んだ者を裁くために来られるキリスト・イエスの御前で、その出現とその御国とを思いつつ、厳かに命じます。御言葉を宣べ伝えなさい。』と言っています。実はこの日は「世界宣教の日」（10月の最後から2番めの主日）でもあり、今年のテーマは「諸民族の中で生きる希望の宣教者」となっています。

先人たちの長い長い福音宣教の旅路があつてこそ、わたしたちの今があります。

聖ルカ福音記者の祝日、そして世界宣教の日の2日間を機会として、今のわたしたちにとって福音宣教とは何なのか、今のわたしたちに何ができるのか、今一度考えてみようではありませんか。

## 【人生のリズムを刻む<sup>きざ</sup>】あらためて「ロザリオの祈り」について



今月、ミサの前に捧げられているロザリオの祈りでは、イエス様の生涯に現れた4つの神秘（喜び・光・苦しみ・栄え）を、マリア様とともに黙想します。

4つの神秘にはそれぞれ

5つの黙想があり、1つの黙想ごとにまずイエス様が教えてくださった「主の祈り」を唱え、マリア様のとりなしを願う「アヴェ・マリアの祈り」を10回唱えながらイエス様の生涯の一場面を黙想し、三位一体への賛美である「栄唱」で区切りをつけます（これを「一連<sup>いちれん</sup>」といいます）。ロザリオの珠は祈りを数えるためにあり、写真のようなロザリオでは五連つまり5つの黙想（1つの神秘）でひと回

り（一環<sup>いっかん</sup>）するようになっています。

もちろん、こうした方法だけではなく、ロザリオには多様な祈り方があります。例えば、苦しんでいる誰かのため、思い迷っている自分自身のため、ほんの一時、一連だけ祈ることも立派なロザリオの祈りです。

ロザリオという聖具にしても、一連だけの小さなものもあれば、一連ごとの珠の色を五大陸（諸民族）を表す色にして人類の多様性と神の下での一致を象徴した「五大陸のロザリオ」などというものもあり、多様です。

先の先の先の教皇様、聖ヨハネ・パウロⅡ世が『ロザリオの単純な祈りは、人生のリズムを刻むのです』とおっしゃったように、ロザリオの祈りは日々の生活のどんな場面でも、座っていても、立っていても、歩いていてもできる、とても身近な祈りなのです。

### 【典礼部から】巡礼の方々との交流

10月25日（土）、前橋<sup>まえばし</sup>・桐生<sup>きりゅう</sup>・大間々<sup>おおま</sup>教会の方が巡礼に来られ、10時からのミサ後、水戸教会との交流を望んでおられます。他教会との交流の絶好の機会。ぜひ当日のミサにご参加ください。

### 【墓地管理委員会から】秋季墓地ミサ

11月15日（土）11時から、水戸教会墓地で本間神父様司式により墓地ミサが捧げられます。

水戸教会の多くの先輩方が眠り、第二次世界大戦前後に水戸教会を支えられたロック神父様の遺髪が納められた墓地です。ご家族の墓地がない方もぜひ積極的にご参加ください。

### 【信徒使徒職協議会から】家族の日

11月3日（月・祝）は「家族の日」のイベントが友部教会で開催されます。テーマは「子どもたちと若者から学ぶ」。オータムスクールの最終日ということもあり、子どもたちをメインにすえた1日となる予定です。

9時に受付開始、10時から山野内司教様司式のミサが捧げられ、午後にはアトラクションもあります。ぜひご参加ください。

また、前日の事前準備、水戸教会担当のホーリーコーナー・ガレット・福祉販売コーナー、終了後の舞台撤収・後片付けを手伝ってくださる方も大募集中です。